



IPAMIA

[Independent Performance Artists' Moving Images Archive](#)

Oral History IPAMIA Project

オーラル・ヒストリー・プロジェクト

*オーラル・ヒストリー・プロジェクト

2022年、IPAMIAは公益財団法人小笠原敏晶記念財団の助成を受け、オーラル・ヒストリー・プロジェクトを実施している。日本におけるパフォーマンスアートの記録のミッシングリンクとも言える、1980年代以降のパフォーマンスアートシーンを調査するため、その時代に活動をしていたアーティストや企画者の人たちにインタビューをし、テキストや画像などで記録する。

以下は、進捗状況。現在インタビューが終わっており、書き起こし作業中のプロジェクトは以下。

荒井真一さん（1958年生まれ） 2月11~12日
西島一洋さん（1952年生まれ） 4月15日
谷川まりさん（1963年生まれ） 6月11日
村田真さん（1954年生まれ） 8月20日
丸山常生さん（1956年生まれ） 10月16日、29日

1部 ●**イントロダクション** 17:00~18:20

*ゲスト紹介 荒井真一、谷川まり、西島一洋、丸山常生、松永康 (敬称略)

*IPAMIAオーラルヒストリープロジェクトの内容と経緯を説明

***各ゲストアーティストのインタビューと作品動画を紹介**

*製作中の1980~2000年のパフォーマンスアート年表紹介

IPAMIA Oral History Project 2022

Part1: 荒井真一氏 1959年5月7日生まれ

インタビュアー 山岡さ希子 (IPAMIA メンバー、アーティスト)

たくみちゃん こと 橋本匠 (アーティスト)

インタビューをした日 2022年2月11日、12日

場所 荒井真一氏の自宅 (東京都台東区駒形)



2014 Happy ABE Regime !



2000 Happy JAPAN !



2019
Hi/s/tory as a performance
artist
For LEE Wen 19571009-
20190303

通称「リーウェンに捧ぐ」

IPAMIA Oral History Project 2022

Part2: 西島一洋氏 1952年生まれ

インタビュアー 山岡さ希子 (IPAMIA メンバー、アーティスト)

瀬藤朋 (IPAMIA メンバー)

インタビューをした日 2022年4月15日

場所 西島一洋氏の元自宅



旧自宅に置かれた鉄球

IPAMIA Oral History Project 2022

Part3: 谷川まり氏 1963年生まれ

インタビュアー 山岡さ希子 (IPAMIA メンバー、アーティスト)

北山聖子 (IPAMIA メンバー、アーティスト)

インタビューをした日 2022年6月11日

場所 横浜市 北山さんの自宅



《夢のパン工場》



《泥の子ジャミラ》 近藤誠撮影

IPAMIA Oral History Project 2022

Part4:村田真氏 1954 年生まれ

インタビュアー 山岡さ希子 (IPAMIA メンバー、アーティスト)

北山聖子 (IPAMIA メンバー、アーティスト)

インタビューをした日 2022年 8 月 20 日

場所 村田真氏のアトリエ (横浜市)



インタビュー時の村田さん

IPAMIA Oral History Project 2022

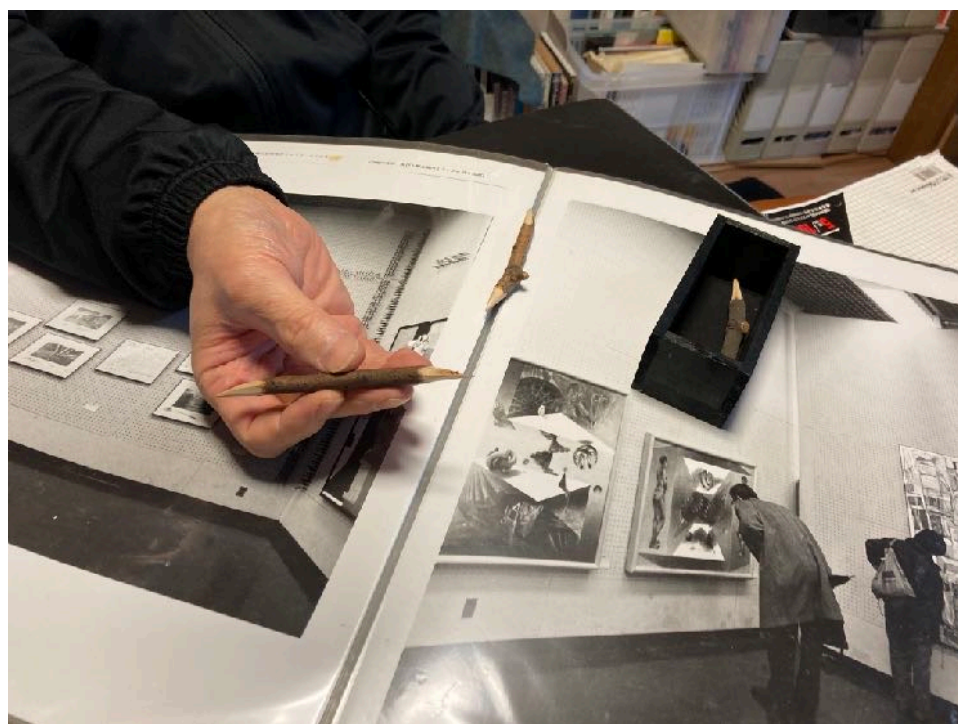
Part5:丸山常生氏 1956年生まれ

インタビュアー 山岡さ希子 (IPAMIAメンバー、アーティスト)

北山聖子 (IPAMIAメンバー、アーティスト)

インタビューをした日 2022年10月16日、29日

場所 丸山常生氏の自宅 (東京都板橋区常盤台)



インタビュー時に大学院の卒業制作の写真を説明しているところ

2部 ●セッショントーク 18:30~20:00

* 当時のイベントについて 「ぴあ展」はみだし部門（1977）、「行為と創造」（1982）、「檜枝岐パフォーマンスアートフェスティバル」（1984~1990）、「土湯温泉パフォーマンス」（1984）「田島パフォーマンスアートフェスティバル」（1991, 1992）「いわきアートセレブレーション」（1991）、「NIPAF」（1993~）、「パフォーマンスと記録」（1997）、「MMAC（1990年代半ば~）」

* セッションの形 「赤木電気」、「公民館運動」、「21分連鎖行為芸術祭」、「現場の力」
「体現集団φアエッタ」

* クロストーク 19:20~

1. 美術系、ライブ系の壁はあるか、ないか？ クロスオーバーという流行り、舞踏との関係
2. 場所について パフォーマンスアートにとって拠点と言える場所があったらどうか？
3. 既成のルールに対して、どのようにアプローチしたか？ 社会に対するスタンス、政治性
4. 「パフォーマンス・アート」という言葉について様々な所感
5. 21世紀になって皆さんの方向性は怎么样了でしょうか？
6. 今後のパフォーマンスアートの展望は？

1977年「ぴあ展」



ぴあ5周年企画
はみだし部門を村田真氏が企画

ぴあ展 タイムテーブル

お待たせいたしました。注目の「ぴあ展タイムテーブル」の発表です。いかがですか。ただしここに発表したプログラムは、10月18日現在のものです。今後、時間等若干の変更があることがあります。ご了承ください。なお、音楽部門のタイムテーブルに関しては11月中旬までお待たせ下さい。

ハミダシ部門

はみだし部門
ぴあ展番外地

ネッシー草原

●熱飛行船「単体可」
天候さえ良ければ、2日間で5回飛行させる予定

大泉ハチ公前広場

●がらくた市
両日共、10時AM-4時PM
●元祖西洋講談「洋もく事」はりだし公演
11時-12時、14時-16時、18時-20時
●田中康(ハイパーダンス・プロデュクション) 18時
舞臺・山形歌
シンセサイザー 野白実
12月4日 10時4時-6時PM

ぴあの総入り

●青楓ミニチュア館開業
両日共、明かか暗くなるまで展示開始と、似顔絵・絵馬の制作実施

時	SCREEN 映画部門		PLAY 演劇部門			MUSIC 音楽部門			時	
	弁慶キネマ I号館	弁慶キネマ II号館	コオニ劇場	ガレージシアターコオニ	テントコオニ	牛若音楽堂	牛若スタジオ	牛若ホール		
10	●造花の結れる季節 西田長樹後・伊村上祐島内村剛志 / 伊井井雄 / 堀音美代子 / 谷田部謙義	●アンダルシアの夫 西アムニエル田アムニエルダリ / リリヒョルト・ワグナー / 島ビエラ・パチュラン / S・マルロー / アムニエル / アルワダール / タリ		(リハーサル)	(リハーサル)	●EEU 高木邦理 (seeds), 直巻等則 (tp)				10
11	●海賊王キートン 西キートン / ドナルド・クリス / アムライド・ブランクマン / 津島キートン / K・マクガイア / アレクシク・ブルーム	●秘私的エロス・荒獣1974 西田原一男 / 加藤登紀子 / 島武田 / 美穂子	●ミスター・スリム・カンパニー 「アルキメデスの原理」すくなくががいでしてしまふ事話の巻 (休 憩)			●MMP 渡辺潔樹(key), 渡辺麻樹(b), 王子聡(d), 菅原由紀(per), 小林正造(tp), 西領剛(g), 片山純二(bs), 竹田恒夫(tp), 山田直哉(g)				11
12	●秋津温泉 西津田高志 / 森島幸助 / 島成島東一 / 島長門裕之 / 岡田茉莉子	●狂った果実 西中平康 / 石原裕太郎 / 島石原裕太郎 / 津川雅彦 / 北原三枝	●劇団 無類派 『新・朝信よ夢に願のリングを授けよ』 作・演出=吉田酒造 (休 憩)			●英川正造 OH / MAN GO! 英川正造(vo), 森田秀昭(シンジ), 池沢文雄(ハーモニカ), 阿部隆(g), 尾島一彦(b), 船岡雄夫(tp), 中井勉夫(d), 渡辺隆道(d), 田村孝一(ダブルベース)				12
1	●八月の薨れた太陽 西田島山正定 / 島風のり子	●ハードボイルド・ハネムーン 西田島山正定 / 島成島東一 / 長谷川裕見子 / 島津雅也 / 島津雅也 / 島津雅也 / 島津雅也	●劇団 無類派 『新・朝信よ夢に願のリングを授けよ』 作・演出=吉田酒造 (休 憩)			●GAS 石田登生(g), 藤井和(b), 近藤隆道(key), 中野昭博(key), 松本龍馬(b)				1
2	●脱し屋たちのロディー 西田島山正定 / 島風のり子	●我がが橋つを曲ろうとしている 西島津雅也 / 島津雅也 / 島津雅也 / 島津雅也	●劇団 無類派 『新・朝信よ夢に願のリングを授けよ』 作・演出=吉田酒造 (休 憩)			●小林貞己バンド 小林貞己(d), 石川英樹(g), 高橋知邦(d), 藤田裕(b), 吉田孝一(key), 長沢純之(key)				2
3	●成る目目 西田島山正定 / 島津雅也 / 島津雅也	●あこがれ 西田島山正定 / 島津雅也 / 島津雅也	●劇団 無類派 『新・朝信よ夢に願のリングを授けよ』 作・演出=吉田酒造 (休 憩)			●秋風雄一郎 (ハーモニカ)				3
4	●シャルロットとジュール 西田島山正定 / 島津雅也 / 島津雅也	●あこがれ 西田島山正定 / 島津雅也 / 島津雅也	●東京ワードワイルド 『決定戦・ちんぴらブルース』原作=武蔵野時 / 演出=石井俊一 (休 憩)			●秋風雄一郎 (ハーモニカ)				4
5	●にっぽん・びらだす 西田島山正定 / 島津雅也 / 島津雅也	●あこがれ 西田島山正定 / 島津雅也 / 島津雅也	●劇団 無類派 『新・朝信よ夢に願のリングを授けよ』 作・演出=吉田酒造 (休 憩)			●秋風雄一郎 (ハーモニカ)				5
6	●黒いこころ 西田島山正定 / 島津雅也 / 島津雅也	●あこがれ 西田島山正定 / 島津雅也 / 島津雅也	●劇団 無類派 『新・朝信よ夢に願のリングを授けよ』 作・演出=吉田酒造 (休 憩)			●秋風雄一郎 (ハーモニカ)				6
7	●サンクワー 西田島山正定 / 島津雅也 / 島津雅也	●あこがれ 西田島山正定 / 島津雅也 / 島津雅也	●劇団 無類派 『新・朝信よ夢に願のリングを授けよ』 作・演出=吉田酒造 (休 憩)			●秋風雄一郎 (ハーモニカ)				7
8	●青春の殺人者 西田島山正定 / 島津雅也 / 島津雅也	●あこがれ 西田島山正定 / 島津雅也 / 島津雅也	●劇団 無類派 『新・朝信よ夢に願のリングを授けよ』 作・演出=吉田酒造 (休 憩)			●秋風雄一郎 (ハーモニカ)				8
9	●黒くなるまで待てない 西田島山正定 / 島津雅也 / 島津雅也	●あこがれ 西田島山正定 / 島津雅也 / 島津雅也	●劇団 無類派 『新・朝信よ夢に願のリングを授けよ』 作・演出=吉田酒造 (休 憩)			●秋風雄一郎 (ハーモニカ)				9
10	●行く行く・マイトカイ 西田島山正定 / 島津雅也 / 島津雅也	●あこがれ 西田島山正定 / 島津雅也 / 島津雅也	●劇団 無類派 『新・朝信よ夢に願のリングを授けよ』 作・演出=吉田酒造 (休 憩)			●秋風雄一郎 (ハーモニカ)				10
11	●行く行く・マイトカイ 西田島山正定 / 島津雅也 / 島津雅也	●あこがれ 西田島山正定 / 島津雅也 / 島津雅也	●劇団 無類派 『新・朝信よ夢に願のリングを授けよ』 作・演出=吉田酒造 (休 憩)			●秋風雄一郎 (ハーモニカ)				11
12	●行く行く・マイトカイ 西田島山正定 / 島津雅也 / 島津雅也	●あこがれ 西田島山正定 / 島津雅也 / 島津雅也	●劇団 無類派 『新・朝信よ夢に願のリングを授けよ』 作・演出=吉田酒造 (休 憩)			●秋風雄一郎 (ハーモニカ)				12

浜田剛爾さんについて

Summer Performance 1979

Plan for continuous Performance Vol.3

〈人間学への接近〉






1 東京 ルーテル市谷センターホール
p.m. 6:00-9:00 ¥1800

8月3日(土)
①かわねのひらひら(Vide) + 榎本昭男(音真) + 田中 達(DANCE)
②松岡三郎 音真
③シブヤク(Vide) + 浜田剛爾(Performance)

8月4日(日)
①ダンクレーのABC(7分14秒) 音真 (Sound) + 榎本昭男(Sound)
②ステラーク(Sound Performance)

8月5日(月)
①音真 音(Performance) + タグ・マジック・グループ
②レスラー (DANCE) + 榎本昭男(Sound) + 轟下麗子(Vide)

2 新潟 常陸市足利書館ホール
p.m. 6:00-8:00 ¥1000

8月11日(土)
①浜田剛爾(Performance) + スタン・ボック1 (Vide)
②浜田剛爾(Performance)
③松岡三郎 音真 (Performanceについて)

8月12日(日)
①榎本昭男(音真)
②田中 達(Performance)
③シブヤク(Sound)
④浜田剛爾(Performance) + ローマン

3 東京 天井橋教会
p.m. 6:00-10:00 ¥1000

8月23日(日)
①音真 (Sound) + 田中 達(Sound)
②轟本 隆十(音真) + 榎本昭男(Sound)
③田中 達(Performance) + Video + シルビ

8月24日(月)
①AUNE-DINA (Sound Performance)
②轟本 隆十(音真) (Sound Performance)
③ダンクレーのABC フォーマー・アコースティック Video show
④音真(音真) (Performance)

8月25日(火)
①ビデオ・音真 Video show and other
②浜田剛爾(Performance)
③音真(DANCE)

8月26日(水)
①音真 音(Performance)
②音真音真(Performance) + Mother man
③轟本 隆十 AFRICA Performance
④音真(音真) (Sound)

4 京都 キヤリリー・リードフロア
p.m. 2:00-8:00 ¥1800
(昼のパフォーマンスは 8:30-8:00)

8月23日(日)
①ダンクレー (DANCE Performance)
②音真 (パフォーマンス・グループ)

8月23日(日)
①音真(音真) + パフォーマンス

8月30日(日)
①音真(音真) + パフォーマンス

8月31日(月)
①音真 音(Performance)
②音真(音真) (Performance)

9月1日(火)
①音真 音(Performance)
②音真(音真) (Performance)

9月2日(水)
①音真(音真) + 音真(音真) + パフォーマンス
②音真 音 音(音真)

5 東京 芝増上寺ホール
p.m. 6:00-9:00 ¥1800

9月8日(土)
①中野真二 Video 作品
②ヒゲマキ 善美 Video Show
③カワカミのDJの Video Performance
④ダンクレーのABC フォーマー・アコースティック Video show
⑤レスラー (DANCE) + 榎本昭男(Sound) + 田中 達(Sound)
⑥音真 音 (Sound) + 田中 達(Sound) + 轟本 隆十(Sound)
⑦轟本 隆十(音真) + 音真(音真) + 轟本 隆十(Sound)
⑧轟本 隆十(音真) + 音真(音真) + 轟本 隆十(Sound)
⑨轟本 隆十(音真) + 音真(音真) + 轟本 隆十(Sound)
⑩轟本 隆十(音真) + 音真(音真) + 轟本 隆十(Sound)
⑪轟本 隆十(音真) + 音真(音真) + 轟本 隆十(Sound)
⑫轟本 隆十(音真) + 音真(音真) + 轟本 隆十(Sound)

6 東京 赤城O.A.Gホール
p.m. 6:00-9:00 ¥1800

9月14日(土)
①音真(音真) + 音真 (DANCE) + 轟本 隆十 (DANCE)
②音真(音真) (Performance)
③音真 音 音(音真) (Performance) + 中野真二 + ヒゲマキ 善美
④音真(音真) (Performance)
⑤音真(音真) (Performance)
⑥音真(音真) (Performance)
⑦音真(音真) (Performance)
⑧音真(音真) (Performance)
⑨音真(音真) (Performance)
⑩音真(音真) (Performance)
⑪音真(音真) (Performance)
⑫音真(音真) (Performance)

9月15日(日) p.m. 6:00-9:00
①パフォーマンス・ワークショップ
②音真(音真) (Performance)
③音真 音(Performance)
④音真(音真) (Performance)
⑤音真(音真) (Performance)
⑥音真(音真) (Performance)
⑦音真(音真) (Performance)
⑧音真(音真) (Performance)
⑨音真(音真) (Performance)
⑩音真(音真) (Performance)
⑪音真(音真) (Performance)
⑫音真(音真) (Performance)

9月16日(月) p.m. 2:00-9:00
①パフォーマンス・ワークショップ(2:00-4:00)
②音真(音真) (Performance)
③音真(音真) (Performance)
④音真(音真) (Performance)
⑤音真(音真) (Performance)
⑥音真(音真) (Performance)
⑦音真(音真) (Performance)
⑧音真(音真) (Performance)
⑨音真(音真) (Performance)
⑩音真(音真) (Performance)
⑪音真(音真) (Performance)
⑫音真(音真) (Performance)

Summer Performance 1979
パフォーマンスとは何か!

1978年～1984年まで?
年に2、3回行われた?

アーティスト：浜田剛爾、安土修三、
小杉武久、鈴木昭男、ステラーク、
風倉匠、島州一など
ワークショップとトークもあった

1977年「ぴあ展」



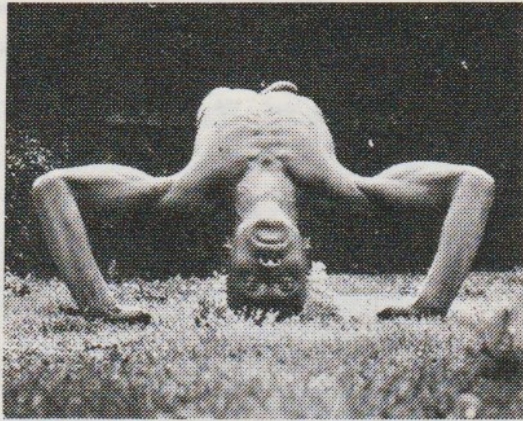
HAMIDASHI
ぴあ展番外地

大泉ハチ公前広場 (からくた市・西洋講談は両日共昼間、田中) 舞臺は夜(19時4~6)
 ぴあの大通り (野外展は両日共明るい間、野外イベントは神出鬼没)
 ネッシー草原 (熱飛行船は、天候に左右され未定)
 白菊の間 (ロシヤ) ータイム及び1日4回、夜1回5回
 小菊の間 (ロシヤ) ー常時ゼゼス
 放映、ホットプレスは夜(19~21時AM9)

目指して、ぴあ展に登場
 無飛行船、身長30
 M、5人乗り、小さな
 けて、丁度、スコアドリ
 の伝記)に出でる、あの飛行船

映画・写真
 甲斐勇一(主演)「あまのこ」
 朝川静江(主演)「あまのこ」
 クリスタル・ロック(アルバム)
 ナツと友彦
 チコ(インダンス)

「ぴあ展参加」
 熱飛行船「鳥羽呼」
 キリマンジャロ飛越をめざして



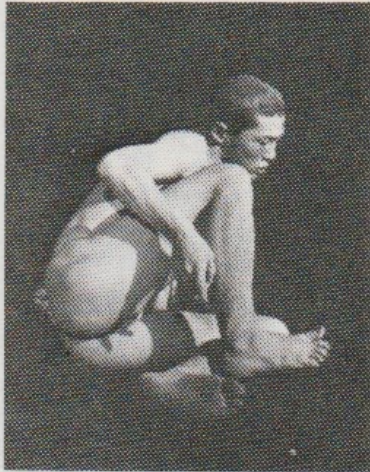
田中 泯

田中泯ハイパーダンス・
 プロジェクション1824時間
 ♠田中泯(45・3東京生)

タランテラ・プラン8
 ぴあ展会場に巨大な
 蜘蛛の巣が!

◆イベント
 蜘蛛の巣張り

花上直人(46・11東京生)
 ☎(658)7872



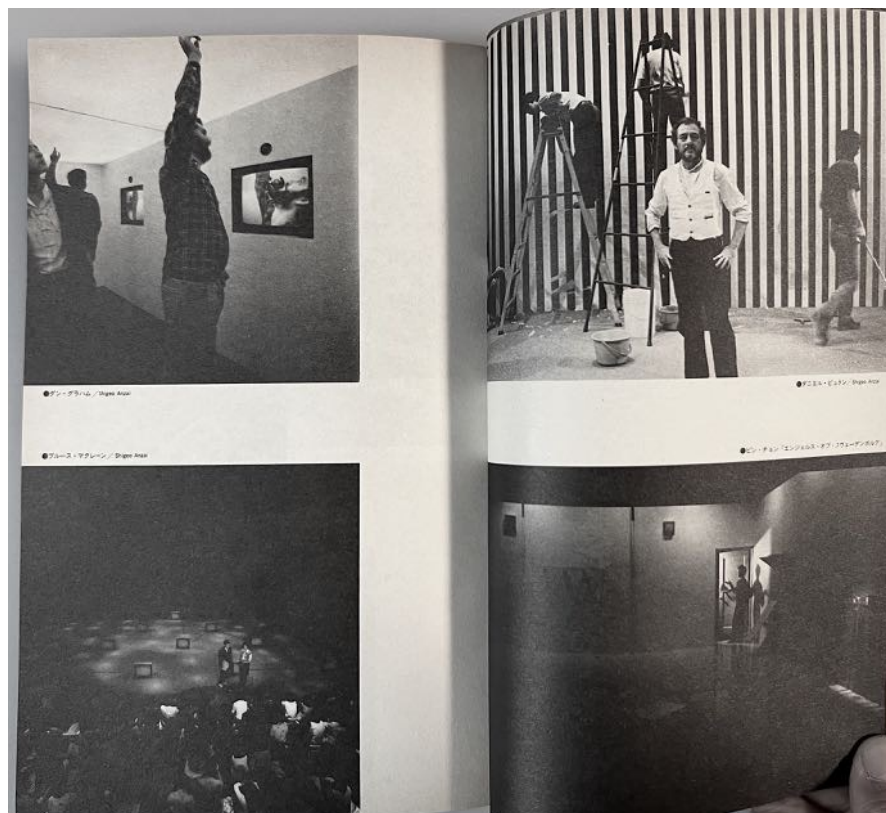
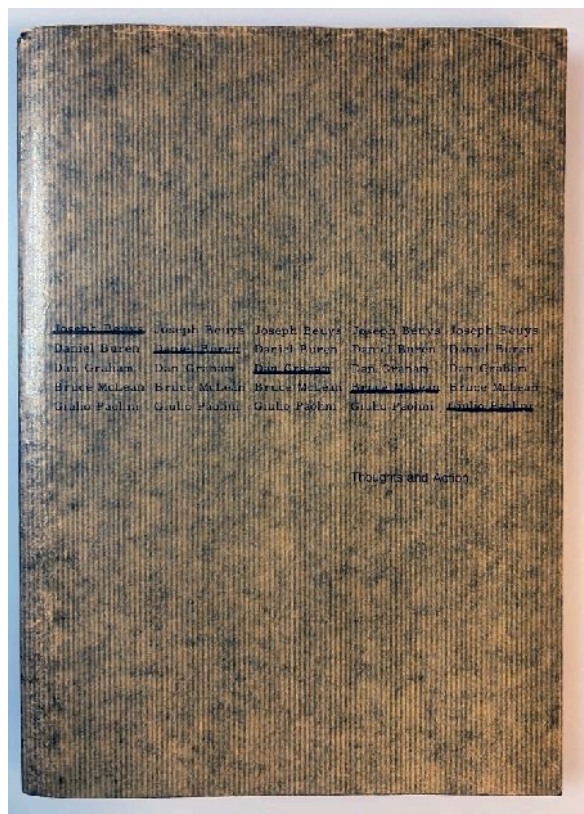
霜田誠二

♥口上

表現
 34時間独断舞踏
 ごめんね、ぴあ展
 ♠霜田誠二(53・7長野生)

アーティスト/
 田中 泯
 花上 直人
 中城 まさお
 霜田 誠二

1982年「行為と創造：現代美術からの啓示」



アーティスト/
ブルース・マクレーン
ダン・グレーム
ジュリオ・パオリーニ
ダニエル・ビュラン

(現代美術からの啓示IIで、ボイスも招聘していたが来なかった
84年に西武美術館が招聘)

企画/南条史生

国際交流基金10周年企画、ラフォーレ飯倉

1984～1990年「檜枝岐パフォーマンスフェスティバル」

Performance & Forum

HINOEMATA FESTIVAL '89

LIVE INSTALLATION/MOVEMENT/IMPROVISATION
WORKSHOP/SYMPOSIUM/FILM

秋田良治 池田一 伊藤隆史 藤枝守
イトータリー 石井清隆 加藤到 加藤就之 木村文彦 齊藤文春 徳田カン 豊島重之 竹田賢一 千野秀一 武井よしみち 藤波京子 西堂行人 根本忍 浜田剛爾 ヒグマ春夫 舟木日夫 星野共 宮内勝 山口昭二 吉本大輔 嶋津武仁 解保社

李鏡鎰 かつたすむ 山本伸樹 佐藤聖子 他 クリステイナエステル スアンシールドンテラ ケイタケイ 高井富子 吉田知尊 ノムラヒハル 藤枝守 公庄隆 秋元雄史 古地徹夫 会津完治 伊藤崇 向井千恵 鈴木貴彦

いわき市立美術館 丸山亮 大塚淳 根本寿幸 秀島英

マクラン 中島宏幸 館岡勝弘 岡部聡 頭下徹夫 酒井秀光 村上道代 武田由美子 白木悠生 坂本浩子 真下有花 片野直美 三浦治 城沢泉 安田洋 伊藤隆史 井草知徳 川原孝朗 三浦一社

PTLEAARE TERRA

パフォーマンス & フォーラム
ヒノエマタ フェスティバル '89
●ライブ・インスタレーション ●ムーブメント ●インプロヴィゼーション ●ワークショップ ●シンポジウム ●フィルム ●

日時: 1989年8月25日全 = PM2:00~PM10:00/26日土 = AM10:00~PM11:00/27日日 = AM10:00~AM 12:00
場所: 福島県檜枝岐村(公民館・舞殿前・河原・公園・民宿...等)
主催: ISA International Space of Artistic Activities
企画: ヒノエマタ フェスティバル '89実行委員会
制作: ISA-スコーピオ プロジェクト

後援: NTT福島・福島民報社・福島民友新聞社・河北新報社・読売新聞社・毎日新聞社・朝日新聞社
Design: Kenji Iwano WIRAPARMA Special Thanks: GIZATHEI SIAI, TOSHIOKI PRINTING Co., Ltd. NKS

ディレクター/
及川廣信、星野共、大串孝二、
ヒグマ春夫、武井よしみち、
イトータリー



村長が見物に見えたのはちょうど川仁宏のパフォーマンスの時だった。

フェスティバルは公民館2Fでのシンポジウムから始まった。テーマは「パフォーマンスは消費されるか」だった。

初日のマリリアのパフォーマンスは夜中のデトバタで行われた。月は山脇に隠れはじめ、薄の中マリリアは歌いながら出て「弱法師」のように去った。

第1日目。4日夜のパフォーマンスは、あいにくの雨の中、江戸時代以来の農村歌舞伎に今も使われる同村「舞殿」前広場で始まった。周りは鬱蒼とした林。芽苺きの舞殿を背にした演者の動きはまるで対向する山に語りかけるかのよう。丸山死のひたすらな直線歩行、ブラジルからきたマウラの狂女振り。自ら光センサーと化した粉川哲夫の火との対話。しかし何といても圧巻は「舞踏の天皇」大野一雄が、雨にさらした81歳の裸体だっただろう。最後の演者・勅使川原三郎がそのまま、観客を2キロ離れた「デトバタ河原」までマラソンドンスで引っ張っていった。雨はずっと降り続き観客はだれも帰らない。河原ではインスタレーションの大串孝二がたき火の上に寝そべり、川べりに立つ電源開発の管理小屋の屋根から、異形の玉野黄市がそれを見下す。と、そ

写真・宮内 勝



公園の橋を渡ると、川の両岸からロープが張ってあって、Dooopの旗が色彩やかに吊るされてあった。

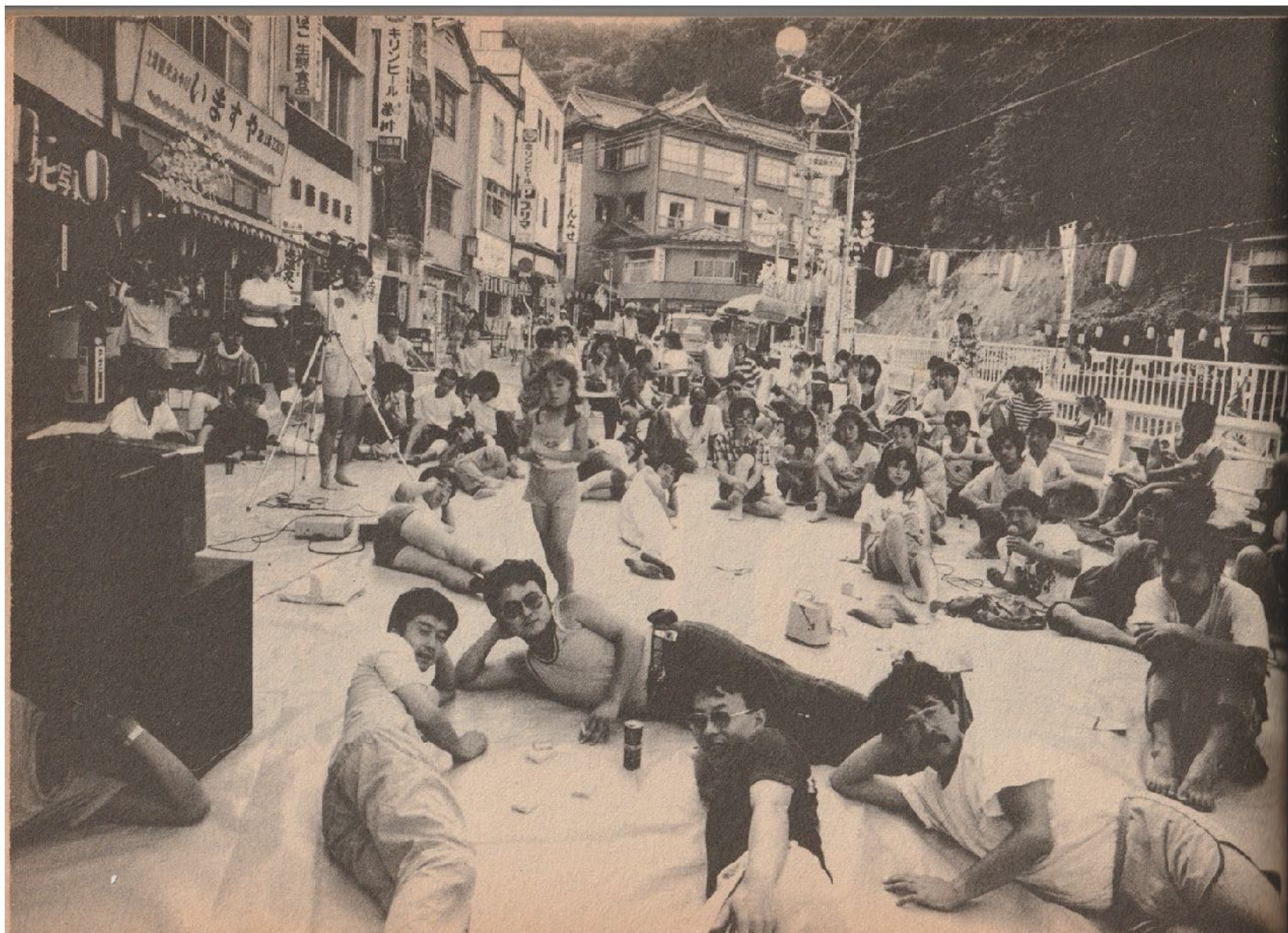
出作り小屋での打上げはビデオ観賞、キャンプファイヤーからマロンちゃんの自由ラジオで湧いた。

6日の午後4時半、TERRAの芝居で3日間のフェスティバルの幕は閉じた。

今年は、3日間のうちまる2日間雨にみまわれ、野外でのパフォーマンスは、一種タルコフスキー的な環境のなかでパフォーマンスをすることになった。当然、これは、パフォーマーたちに困難を強いると同時に予期せざる創造的な結果を生むことにもなった。思うに、80年代のパフォーマンスは、もはや〈主体〉のパフォーマンスではなくて、〈場〉のパフォーマンスである。〈場〉が創造的に変容するということは、これまでの「パフォーマンス」で〈主体〉とみなされてきた〈身体〉が無化（希薄化・空虚化）するということでもある。その意味で、フェスティバルで発表された50以上のパフォーマンスは、〈場〉の形成と〈身体〉の無化という観点から考察することが可能だろう。

写真・秋田重治

1984年「土湯温泉パフォーマンス&シンポジウム'84」



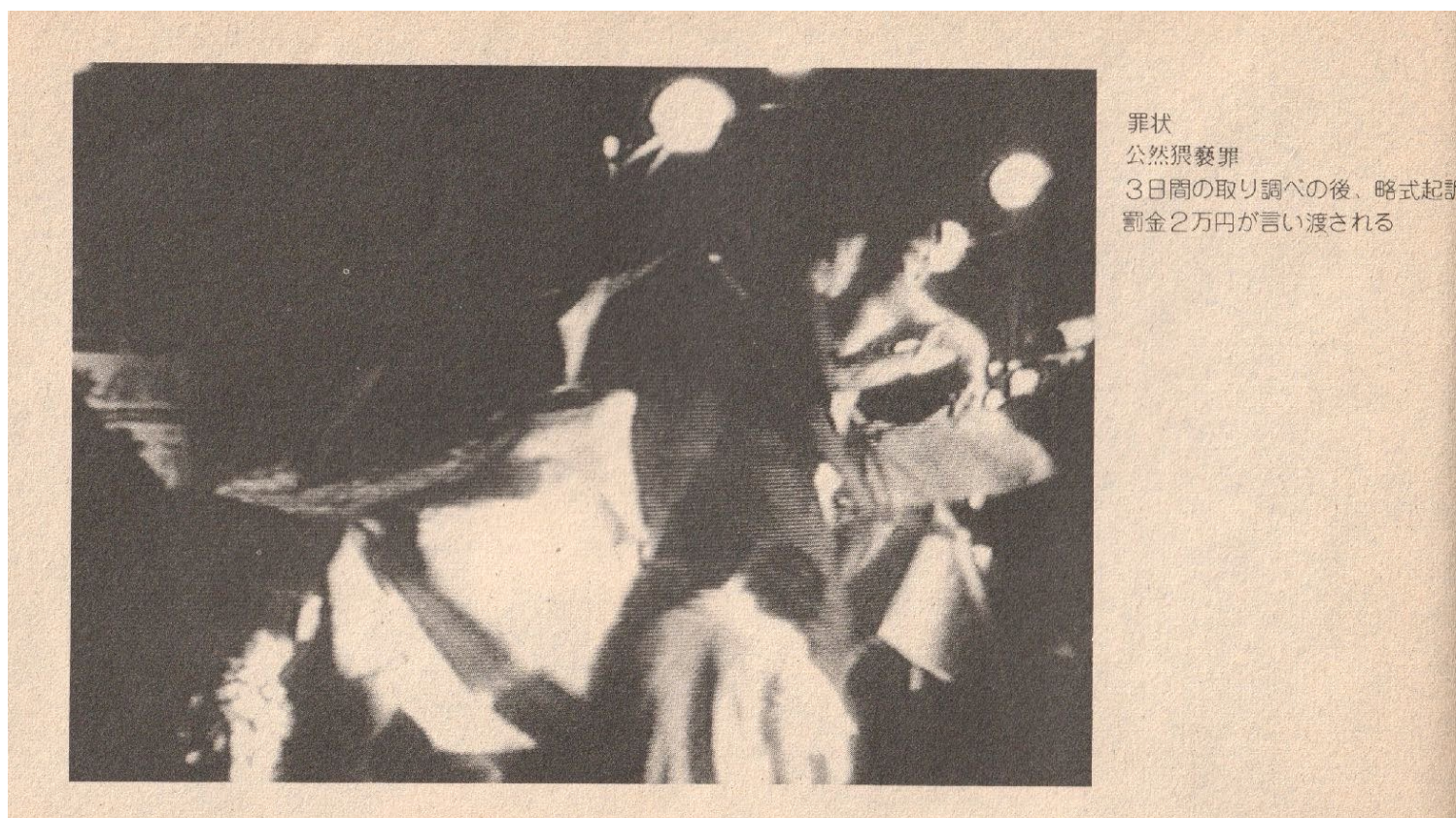
谷川まり



*当時のイベント



霜田誠二



10 スタッフによる準備開始

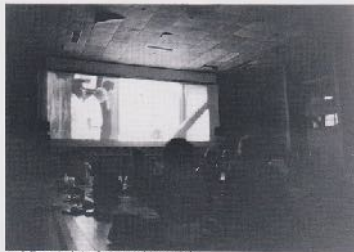
10 荒木直哉
インスタレーション
(廃坑)



オープニングパーティー

12

14



田島町の人達を呼んでの映画上映会。

16

18 オープニング パーティー

映画上映会



オープニングにて、地元の子供達に「しし」の手作りをするヤスパースン氏

20

22



採出されたコンセプトをワークに打ち込む

24

20

14

廊下の足音を想い起こし

20日(月)：金津高原駅を左手に見て車を進めると、やはり左手取付道路入り口に「神奈川県野外研修施設」と書かれた看板が現れてくる。その入り口で、数人のスタッフが、フェスティバル会場であることを知らせるモニュメントの楕を組み立てていた。楕の先端には赤い布がはためいているだけであるが、そこには単に文字で知らせる以上の効果、すなわち、なにかが起りそうなことを十分予感させていた。既に廃校となり、野外

F
研修施設に変わった八総鉱山小学校に到着すると、正面玄関でも廊上からインスタレーションの布張が展示され、来る者を歓迎していた。

教室の一つが事務局用スペースに当てられ、スタッフは準備作業に追われていた。大勢の人が歩く度に発する、長い板張りの廊下のきしみ音は、廃校が久しぶりに活気に包まれていることを教えているようだった。夕方、外国人を含む一団が到着すると一段と賑やかさが増した。全員中庭に集まって、缶ビールでオープニングの乾杯をした。

この八総鉱山小学校周辺は戦後期に大変栄えた集落のあったところと聞くが、今では嘘のようにその面影もなく、ただ小学校のみがかつての栄華の片鱗を伝えている。今回世話をしてくれた町役場に勤める馬場さんの話によれば、当時は田島町内よりもこの八総鉱山集落には文化の香りが漂っていて、たとえば新しい映画なども、町内よりも先にこの小学校の講堂で上映されたという。

そのこともあって、オープニングのイベントには小学校を会場として使用するセレモニーの一つとして、会津高原駅周辺の人々に呼びかけてかつての映画会を再現し、交流を深めることになった。出し物は、丁度当鉱山が隆盛を極めた高度成長期の歪を取り扱った黒沢の「天国と地獄」。福島フォーラムのマネージャーが、銀幕、音響装置、映写機をもって駆けつけてくれた。

子供や年寄りを含めて30数名の地元参加者があり、映画会終了後も山口昭二の歌、武井よしみらの軽パフォーマンス、ドイツから参加したクッペルとヤスパースンの手品などでしばらく楽しい時を過ごす。

星野共



21日(火)：10時から身体の解放を目的にした、イーターリーの、ワークショップが始まった。一方、ワークショップに参加しないパフォーマンス達は、それぞれに自分にふさわしい「場所」や「空間」を求めて散策した。

日が傾きかけた頃からパフォーマンスが始まった。中庭にて山口昭二の歌、鉱山跡にてサクマクミコの踊り。荒木直哉の廃校跡におけるインスタレーションにはっとさせられる。荒木は数日前から廃墟の美術館倒りに訪んでいた。周辺の森林を組み合わせ配置することで、微妙な空間を演出させていた。ホジティブに主張していないところがかえって存在感を強め、私たちに新しい見方を提示した。一夜はジョイント・インプロ

ビゼーションの醍醐味を味わう。Bassの吉沢元治にえーり・じゅん、サクマクミコ、原田拓巳、さらに沈哲鐘が絡んだ。特に沈のハシゴを使ったパフォーマンスには独特の躍動感があふれ、喝采をあげた。

実行委員の武井・星野氏



山口氏は、単独で廃校跡にてパフォーマンスを行った。



劇団湯風堂



SESSIONには、韓国からの参加者、沈哲鐘氏が飛び入りした。



WORKSHOP D
池田一 (校庭)

10

WORKSHOP A
イーターリー (講堂)

12

WORKSHOP A
イーターリー (講堂)

14

山口昭二 (校庭)

16

サクマクミコ (廃坑)

18

20

吉沢元治 沈哲鐘
えーり・じゅん (講堂)

22

原田拓巳 サクマクミコ

24

1991年「いわきアートセレブレーション」



ディレクター / 及川廣信

アーティスト /
 丸山常生
 濱田剛爾
 安土修三・ガリバー
 池田一、など

パフォーマンス、展示、
 ワークショップ、
 シンポジウムも

1993~ 「NIPAF」

93年 「第1回長野国際パフォーマンス・アート・フェスティバル」

95年 「第2回日本国際パフォーマンス・アート・フェスティバル」

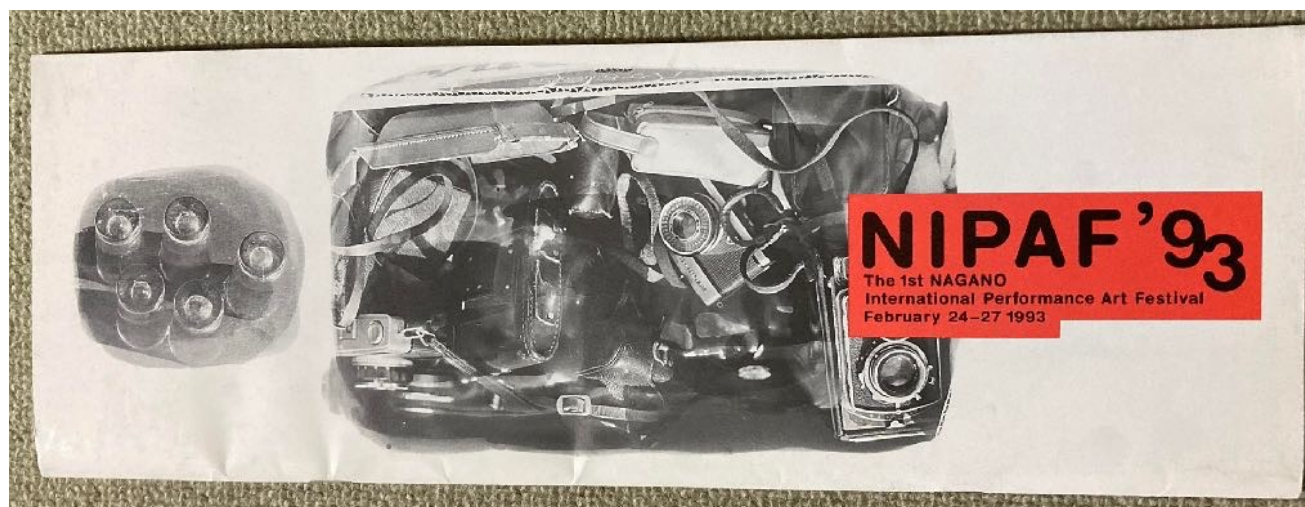
96年 丸山常生参加 「東京ーケベック現代美術交流展」

NIPAFアジア始まる。

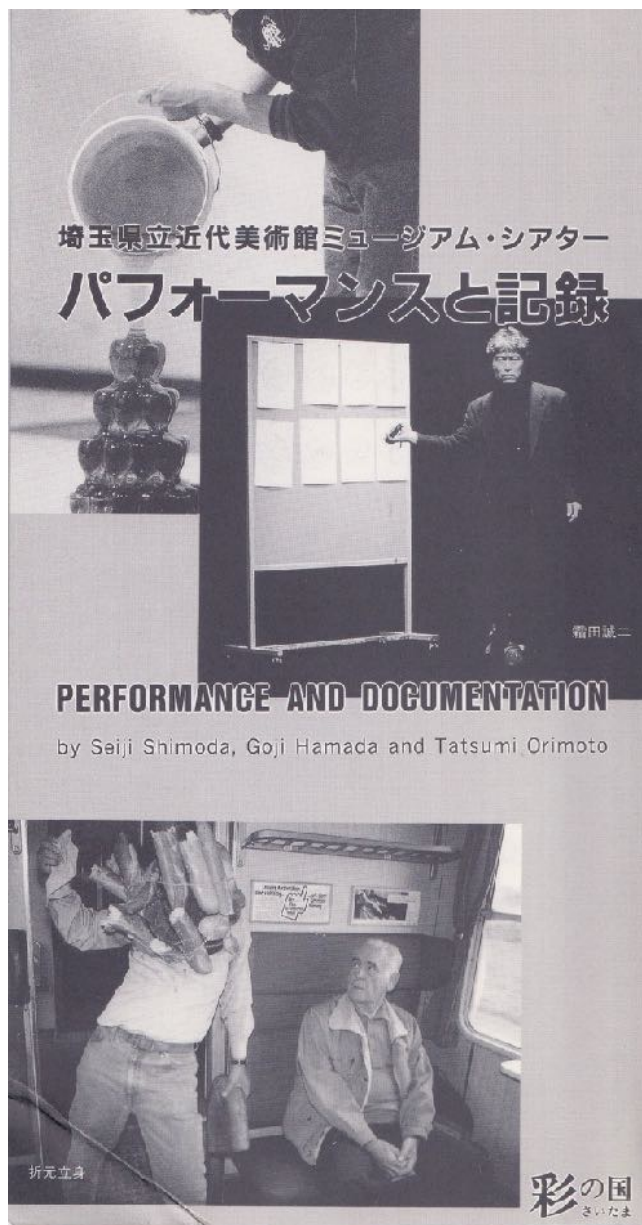
98年 西島一洋参加 以降2007まで名古屋NIPAFをコーディネート
谷川まり参加

99年 荒井真一参加

ディレクター / 霜田誠二



1997年 「パフォーマンスと記録」



埼玉県立近代美術館ミュージアム・シアター
パフォーマンスと記録
PERFORMANCE AND DOCUMENTATION
by Seiji Shimoda, Goji Hamada and Tatsumi Orimoto

1997. **2.23** (日)
パフォーマンス公演 performance 14:00~17:00
出演：霜田誠二、浜田剛爾、折元立身

1997. **3.23** (日)
記録展示 document presentation 13:00~17:30
対談 discussion 14:00~17:00
パネラー：霜田誠二、浜田剛爾、折元立身
埼玉県立近代美術館講堂(2階)、入場無料(先着順100名)

埼玉県立近代美術館
京浜東北線北浦和駅西口・北浦和公園内
〒336 浦和市常盤9-30-1 電話048-824-0111
THE MUSEUM OF MODERN ART, SAITAMA
(In the Kita-Urawa Park, west side of
Kita-Urawa station on Keihin Tohoku line.)

登壇者：浜田剛爾
霜田誠二
折元立身

企画：松永康
(埼玉県立近代美術館学芸員)

1995年～ Mixed Media Art Communications

Performance SCHEDULE
※スケジュールは一部、変更になる場合がございます。

● 目次 Aug. 29th at CASA

18:30 Performance Start 入場無料
① Jocelyn FISET (フランス) (Performance)
ジュズデン・フィセット
② 丸山 亮 (Performance)
Ryo MARUYAMA
19:30～21:30
MMAC FESTIVAL in TOKYO '98 Reception Party
CASA(カサ) 〒110-0001 東京都台東区中千代7-18 西蔵ビル4F
TEL. 03-3685-1170

● 新中野 Aug. 30th at GALLERY 無寸草

19:00 Performance Start 入場無料
① 藤川 佳子 (Performance)
Yoshiko HAKAWA
② ヒグマ 尊夫 (Performance)
Horse HIGUMA
18:30～
Reception Party
*ギャラリー無寸草 〒164-0002 東京都中野区中野6-13-30
TEL. 03-5229-0937

Aug. 29 sat 30 sun 31 mon Sep. 1 tue 2 wed 3 thu 4 fri 5 sat

チケットの申し込み・問い合わせは
Tel: 03・3311・2461
Fax: 03・3316・6923
*〒164-0002 東京都中野区中野6-13-30
TEL. 03-5229-0937

Performance パフォーマンス トポロジカルな皮膜
分化という近代原理を超越する表現があるならば
Aug. 29th (sat) Sep. 5th (sat)

● 新井薬師 Aug. 31st at WEST END STUDIO

18:00 Open 19:30 Performance Start
① 泉貝のぞみ (Sound)
Tomomi IZUMI
② Joergen TELLER Group (Denmark) (Sound)
Joergen TELLER
③ 新生 真羽 + アルト (Denmark) (Sound)
Naruhito SHENJO + Arald
④ 上野 謙一 + 藤野 修三 + 吉村 弘 + 上野 美津子
Kenji UENO + Shuzo FUJINO + Takashi YOSHIMIZU + Misako UENO
⑤ HERNANI COR (France) (Sound)
HERNANI COR

● 新井薬師 Sep. 1st at WEST END STUDIO

18:00 Open 18:30 Performance Start
① Joergen TELLER (Denmark) (Sound)
Joergen TELLER
② 森田 ガン + 小井 経雄 + ヒグマ 尊夫 + 平石 博一
Kan MORI + Shigeo KOIWA + Horse HIGUMA + Hiroshi HIRAISHI
③ 村田 いづ実 (Performance)
Izumi MURATA
④ Luc LEROUGE (France) (Sound)
Luc LEROUGE
⑤ International Art Meeting-Kawata Group (Japan) (Performance)
International Art Meeting-Kawata Group

● 新井薬師 Sep. 2nd at WEST END STUDIO

18:00 Open 19:30 Performance Start
① 轟下 美穂 + Abe M'ARIA - 万城目 祐
Mitsuko FUSHIRO + M'ARIA Abe - Yuki MANGO (Performance) (Dance)
Mitsuko FUSHIRO
② Joanna DUDLEY (Australia) (Sound)
Joanna DUDLEY
③ Annie COROON + Jean VOGUEFF (France)
Annie COROON + Jean VOGUEFF (Dance + Sound)
④ 阿路 清 高穂 + コニト 舞音 + 藤野 修三
Hiroyuki ARUO + Shizuko KONITO + Shuzo FUJINO
⑤ David 2 DIVOJO (Czech) (Performance)
David 2 DIVOJO
⑥ HERNANI COR (France) (Sound)
HERNANI COR

● 京橋 Sep. 3rd at GALLERY B-One

17:00 Performance Start 入場無料
① 伊藤 真生 Akira ITO (Sound)
② 石川 樹木 Kiyotaka Ishikawa (Sound)
③ 豊嶋美術協会 CMA Art Union (Performance)
④ 谷川 真由 Mami Taniyama (Performance)
18:30～19:30 Reception Party
*ギャラリーB-One 〒164-0001 東京都中野区中野2-9-10 大蔵ビル4F
TEL. 03-3535-1181 03-3535-1185(受付)

● 麹町 Sep. 4th at GALLERY SPACE 21

18:00 Performance Start 入場無料
① 植田 昇 Noboru Uehata (Performance)
② 星 孝司 Takashi HOSHINO (Performance)
③ 藤野 修三 Shuzo FUJINO (Performance)

● 目次 Sep. 5th at CASA

13:00 Performance Start 入場無料
① International Art Meeting-Atsushi Goto (Japan) (Performance)
International Art Meeting-Atsushi Goto
② 丸山 常生 Taka MARUYAMA (Performance)
③ 船木 白天 Taku FUNAKI (Dance/Sound)
17:00～
Symposium
19:00～21:00 Closing Party
CASA(カサ) 〒110-0001 東京都台東区中千代7-18 西蔵ビル4F
TEL. 03-3685-1170

Aug. 29 sat 30 sun 31 mon Sep. 1 tue 2 wed 3 thu 4 fri 5 sat

WEST END STUDIO 入場料
当日: ¥2,800
前売り: ¥2,300
通し券: ¥4,000

WEST END STUDIO
Admission: ¥2,800
GALLERIES: Admission FREE

STAFF
舞台監督: 藤野 研二
照明・音響: ソライロヤ
記録: 東郷 晴夫 (ビデオ)
加藤 英弘 (写真)
美術担当: 轟下 美穂
パフォーマンス担当:
上野 謙一
藤田 ガン
新生 真羽
豊嶋 修三
宣伝美術: 三橋 智久
連絡先: MMAC事務局 /
〒116-0015 東京都台東区中千代4-21-4
(株)NAIインターナショナル

MMAC Vol. 4
Mixed Media Art Communications
PAN

MMAC Vol. 5
Mixed Media Art Communications
PAN

MMAC Vol. 3
Mixed Media Art Communications
PAN

MMAC Vol. 6
Mixed Media Art Communications
PAN

MMAC Vol. 2
Mixed Media Art Communications
PAN

Performance Festival Via #4
Mixed Media Art Meeting

パフォーマンスから パフォーマンスへ

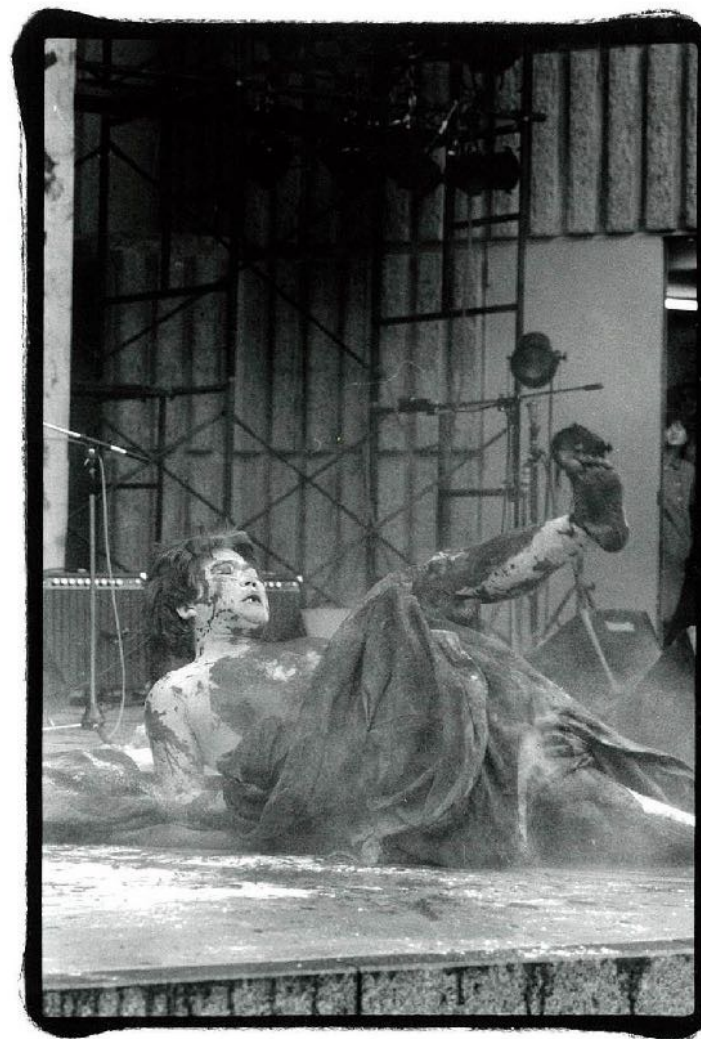
編 英長

多くの文化や芸術が融合して生まれた新しい文化、それがパフォーマンスだ。パフォーマンスは、音楽、舞踏、演劇、映像、写真、パフォーマンスアートなど、あらゆる芸術の分野から生まれ、そして新しい表現の場を開き、アーティストと観客をつなぐための重要な役割を果たしている。MMACは、パフォーマンスの魅力を伝えるために、様々なパフォーマンスを収録したパフォーマンスマガジンを発行している。このマガジンは、パフォーマンスの歴史、理論、実践について詳しく紹介し、アーティストのインタビューや作品の解説も掲載している。パフォーマンスは、単なる芸術表現だけでなく、社会や文化を反映する重要な手段としても機能している。MMACは、パフォーマンスの魅力を伝えるだけでなく、パフォーマンスの発展を促進するためのプラットフォームとしても機能している。パフォーマンスは、私たちの生活に深く関与している。MMACは、パフォーマンスの魅力を伝えるだけでなく、パフォーマンスの発展を促進するためのプラットフォームとしても機能している。パフォーマンスは、私たちの生活に深く関与している。MMACは、パフォーマンスの魅力を伝えるだけでなく、パフォーマンスの発展を促進するためのプラットフォームとしても機能している。

主催：MMAC

1983~「赤木電気」

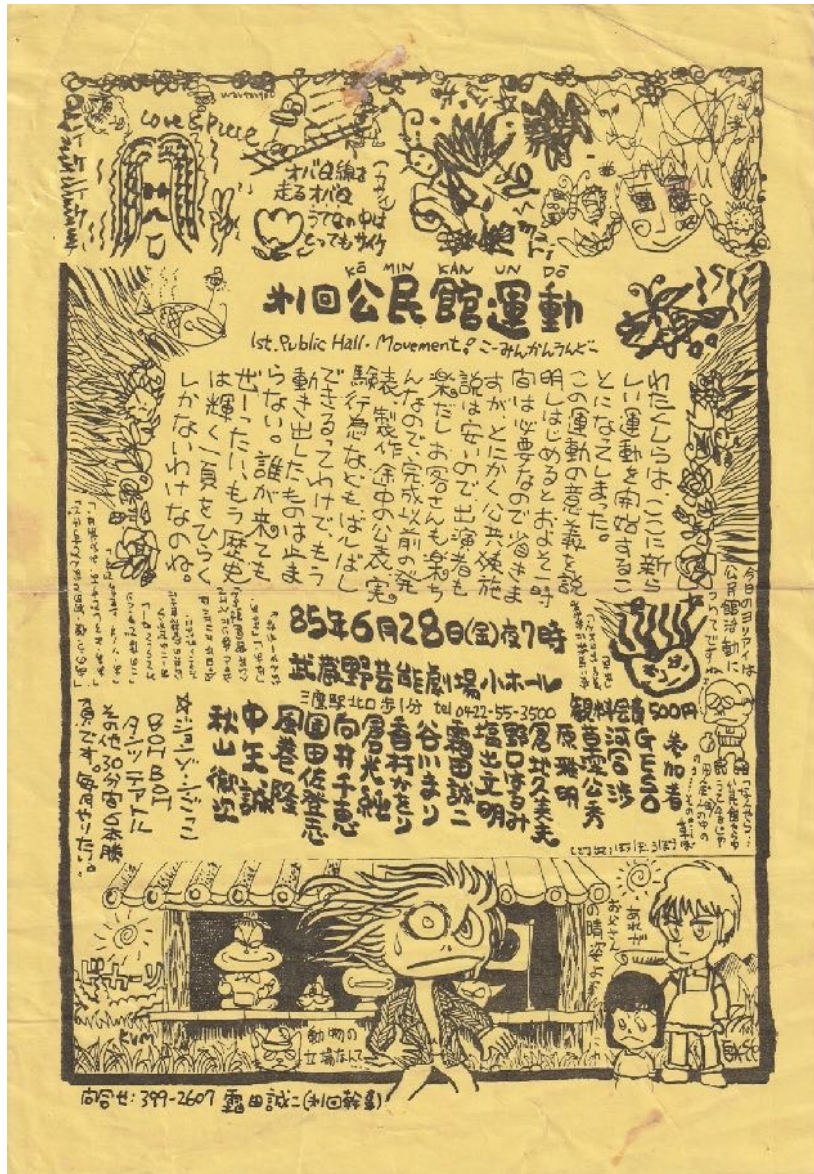
荒井真一、赤木能里子、三枝由起夫、星野正治、久住卓也



1983年「天国注射の昼」東京・日比谷野外音楽堂

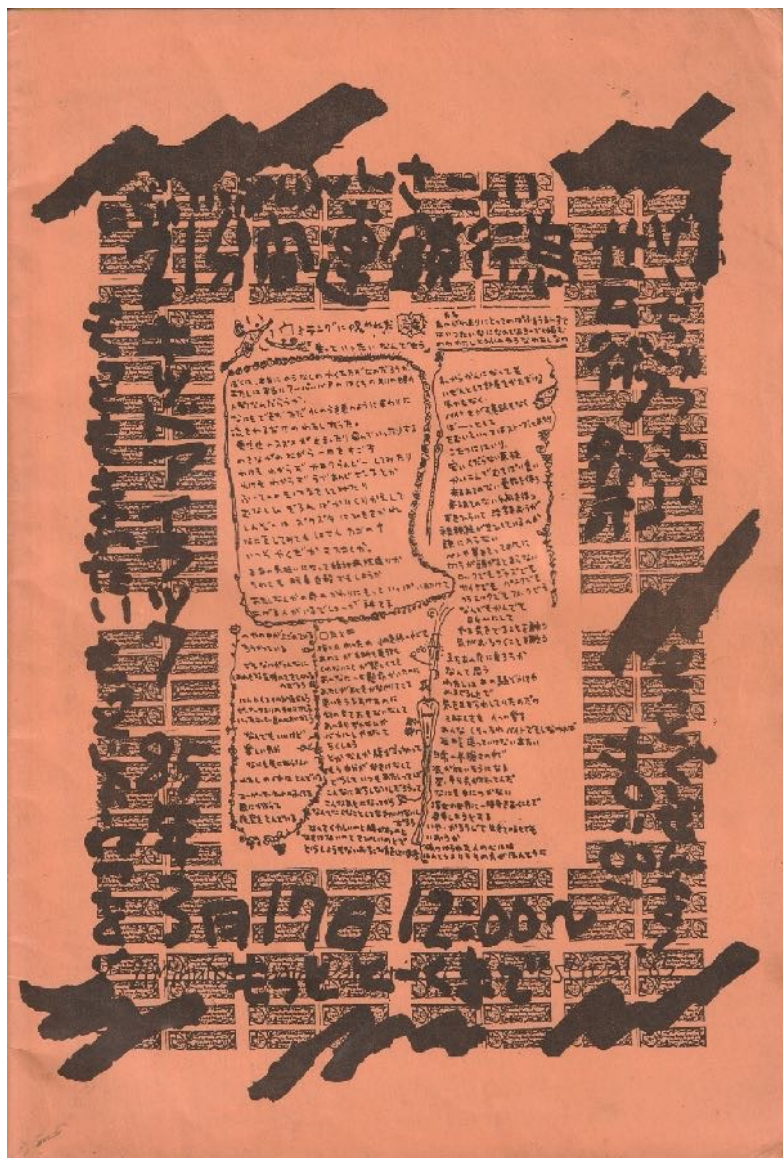
1985年? ~ 「公民館運動」

霜田誠二、谷川まり 他



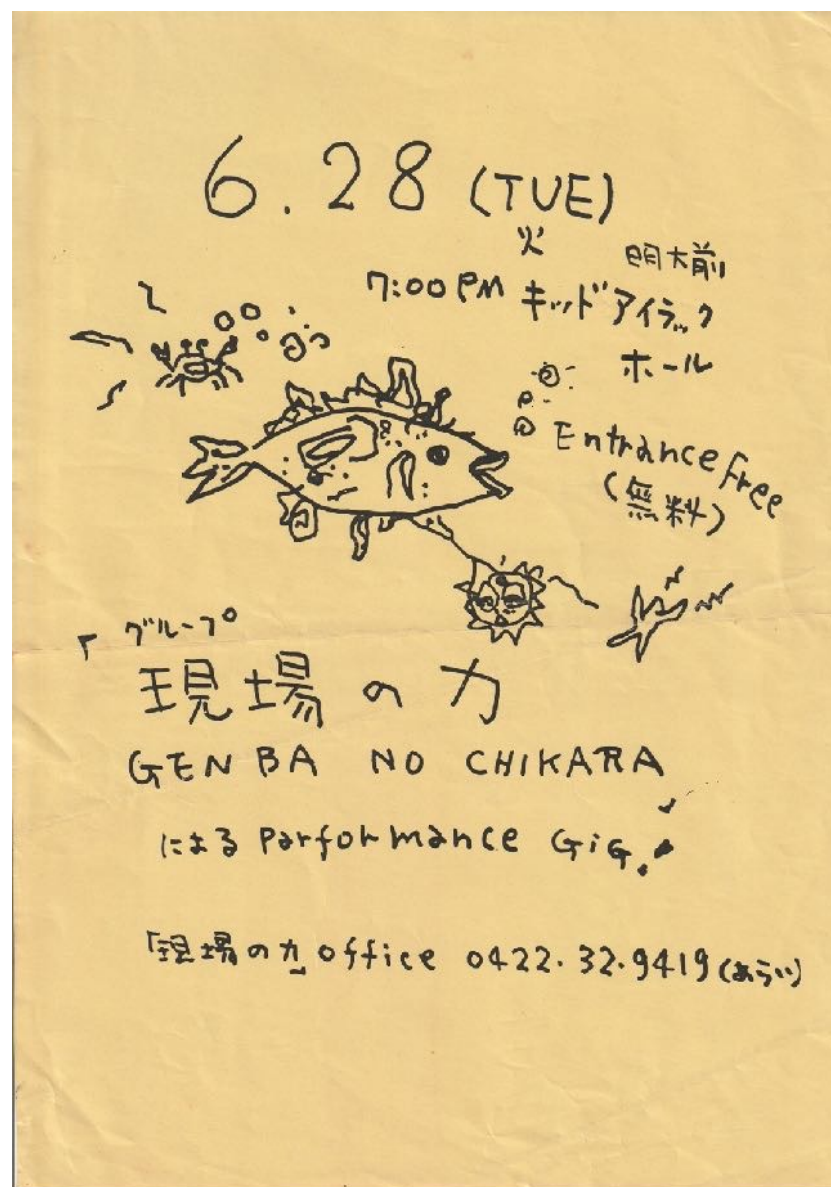
1985年? ~ 「21分間連鎖行為芸術祭」

霜田誠二、谷川まり 他



1987年~「現場の力」

荒井真一+サエグサユキオ



1988年～「体現集団Φアエッタ」



メンバー：写真左から、関智生、林裕己、西島一洋

*クロストーク ~20:00

1. 美術系、ライブ系の壁はあるか、ないか？

クロスオーバーや越境という思想の流行り、舞踏との関係、行為と身体

2. 場所について

パフォーマンスアートにとって拠点と言える場所はあったらどうか？

3. 既成のルールに対して、どのようにアプローチしたか？

社会に対するスタンス、政治性、企画の立て方

4. 「パフォーマンス・アート」という言葉について様々な所感

5. 21世紀になって皆さんの方向性は怎么样了でしょうか？

6. 今後のパフォーマンスアートの展望、および期待は？